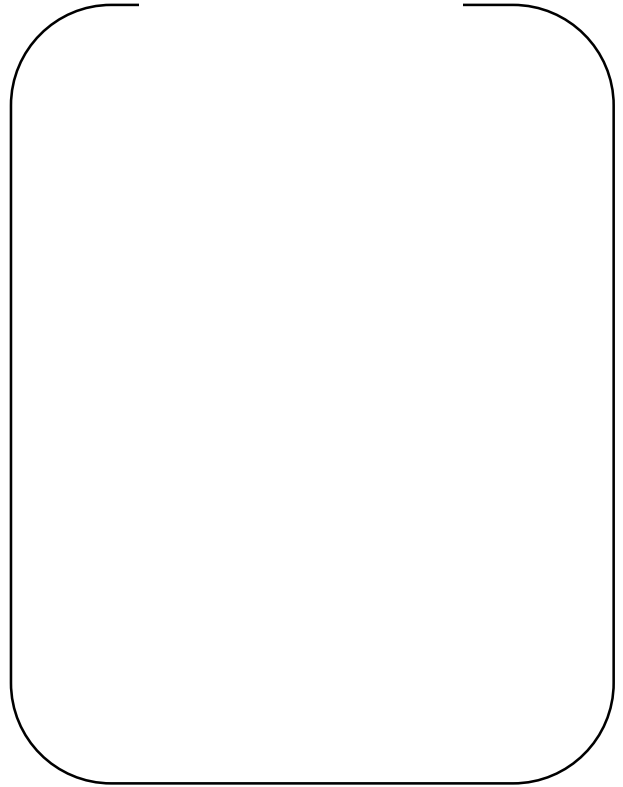


① 今日の目標

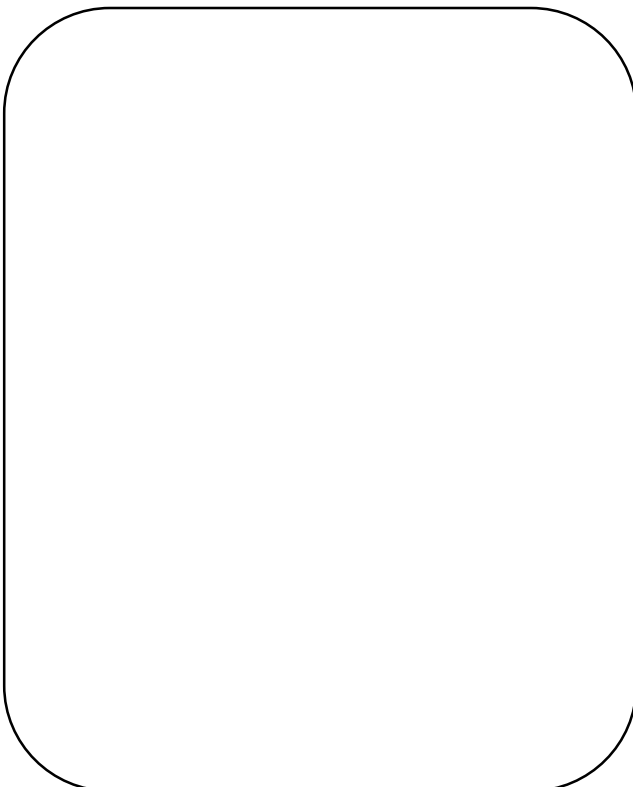
自己評価



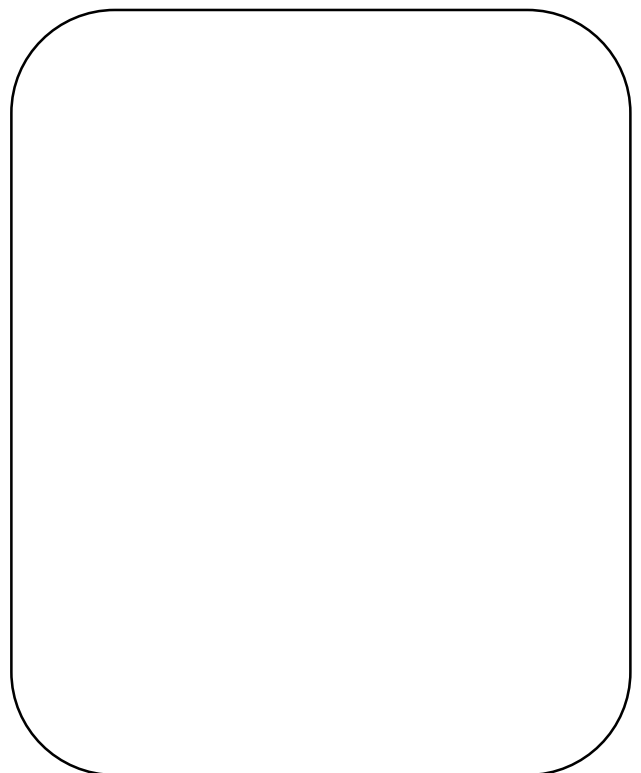
② 今日のインパクト



③ ②の理由



④ 今日の学び



プロセスレコード

年 月 日 (実習 日目の記録) 学籍番号 学生氏名

診断名 患者： 氏 才 男・女
 【状況・目的】なぜこの場面を選んだのか？その時の自分の気がかりは何か、何を明らかにしたいのかを具体的に明記しましょう。

患者が言ったり行ったりした事	私が考えたり感じたりした事	私が言ったり行ったりした事	分 析

【全体を通しての考察】

【検討を終えて見えてきた自己の課題 — 自己の強みと弱みの両視点から見つめてみよう】

静岡市立清水看護専門学校 基礎看護学実習 I 評価表

「看護の対象者との関わりを通し、自己の傾向を知り、看護におけるコミュニケーションについて体験的に学ぶ」

学籍番号 () 氏名 ()

学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準		
				すばらしい	よい	歩努力を要する
対象とコミュニケーションをとり、その場면을客観的に見つめる。	患者とのコミュニケーションを振り返り、自己の傾向を知る。	対象理解	実習記録 I・II カンファレンスの発言 レポート	関わりから気になる場面をわかりやすく挙げられ、助言も活かし、自己の傾向に気づき、表現している。 30	関わりから気になる場面を挙げられ、自己の傾向を表現している。 20	振り返りの内容はコミュニケーション技法に留まっている。 10
看護に必要なコミュニケーションについて考え、表現する。	患者の思いを知るために必要なコミュニケーションを考える。	探求心	実習記録 I・II カンファレンス・GWの発言 レポート	患者と看護師の関わり、自己と患者との関わりから、看護におけるコミュニケーションについての考えを具体的に表現している。30	患者と看護師の関わり、自己と患者との関わりから、自己の考えを表現している。 20	関わり場面、自己の考えをそれぞれに表現している。 10
グループ内で協力しあう。	グループメンバーと協力して実習に臨んでいる。	調整力 実践力	実習関係者、グループメンバーとのやりとりの状況 cf、GW 運営・見学の様子	グループの一員としてお互いに助言をしあい、リーダーやメンバーとしての役割ができています。10	グループの一員として他のメンバーと協力し、実習できている。 8	他者より求められグループメンバーへの意見や役割ができています。5
看護者としての倫理的規範を持ち、行動する。	情報管理を適切に行っている。	倫理観	情報管理の状況 報告連絡相談の状況	個人情報の保護のため、記録の取り扱い、会話の場所など情報漏洩しない行動ができています。10	情報の取り扱いに不備があることに気づき、すぐに対処行動ができていた。 8	情報の取り扱いについて適切でない状況があった。周囲への影響を考慮することができない。 1
	実習にふさわしい行動をしている。	倫理観	身だしなみ・態度・言葉遣い	身だしなみ・態度・言葉遣いは他者に安心や信頼感が伝わるものである。 5	身だしなみ・態度・言葉遣いについて他者から助言・指導を受け、その意味に気づくことができた。 3	適切な身だしなみ・態度・言葉遣いについて他者から助言・指導を受けたが行動を変えることができていない。 1
	学び続ける姿勢が見られている。	倫理観 探求心	実習記録 I 記録の提出状況 見学の様子	わからないことは自ら調べたり、質問・相談し助言をもらうなど、積極的に実習できている。 5	助言を受けたことに対して、理解しようとしていたり、調べたりしている。 3	わからないことをそのままにしている。 決められた記録を提出していない 1
	医療従事者として、医療チームや患者への影響を考え健康管理に努めている。	倫理観 調整力	健康状態 報告連絡相談の状況	自分の体調に応じた感染予防行動が取れた。 自分の体調管理を十分に行え、実習に影響がなかった。 10	体調管理についてとるべき行動について指導を受けそれに従っている。 7	体調管理に影響する約束事を守れていない。 1

欠課時間
()時間/45時間

実習指導者サイン

担当教員サイン

一日の実習計画表

月 _____ 日 () 実習 () 日目

本日の実習目標	
実習計画	行動計画の詳細や援助計画
8:30	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
14:00	
15:00	
スタッフからの助言（学生が記入する）	

クリティカルシンキング

（看護問題の解決と看護計画を立案するまでの過程（因果関係を整理するための用紙）

患者に対する気がかりな事象：今日の実習で得られた情報から、気がかりなことを具体的に記述（なぜ気がかりになったかの理由も詳細に記述する。）



原因分析：気がかりな事象はなぜ起こっているのか・原因や反応の意味を知識や理論を使って明らかにする。



成り行き・予測できる問題

患者の現象の因果関係・日常生活援助の実施内容の根拠などを整理し、患者のねがう生活を実現するために、どのようなつながりがあるのか、日々ふくらめていく。

目標：対象理解に必要な情報を理解し、看護的な気づきから対象理解を深め、対象の望ましい姿に近づくための援助を考え、日々の実践との関連を見出す。

学習活動	評価規準	観点	評価資料	評価基準		
				素晴らしい	よい	努力を要する
1 指導者と共に日常生活援助を実施する。	自ら考えた方法や指導者の考えている方法を共有しながら、日常生活援助を一緒に実施している。	調整力 実践力	指導者との対話の様子 実習記録Ⅰ	自分の考えた方法を指導者と共有し、助言をもらい、その理由を考えたうえで、実施している。 援助計画を具体的に立てている。 20	なぜその援助を必要としているか自分の考えに基づいて計画し、看護師と援助を実施している。 15	日常生活援助の根拠が曖昧である。 援助計画の内容がいつまでも具体的にない。 5
2 様々な手段を用いて情報収集を行う。	患者に関わった事象から、自己の気がかりをもとに患者の情報を複数集め、また日々更新されている。	対象理解 実践力	実習記録Ⅰ(事象の説明内容)	情報は、対話・カルテ・指導者・フィジカルイグザミネーションを用いて複数かつタイムリーであり、日々更新される情報に着目している。 事象の説明は時間・人物・様子などが明確にで、誰にもわかりやすい表現である。 20	情報は、対話・フィジカルアセスメント・観察によって収集している。 事象の説明が明確でない。15	多くはカルテからの情報を集めている。 情報が不足し、事象の説明が不十分である。 10
3 論理的(クリティカル)に思考する。	情報の因果関係の説明を、知識や理論の活用をもとに明らかにしている。	探求心	実習記録Ⅰ(原因分析の説明内容) 実習記録Ⅱ 面接 ミーティングの議題提示と発言内容	気がかりな事象の説明は、情報どうしの因果関係をテキストや資料を活用し説明し、理解した情報や分析を繋いだり、新たな推測に発展させている。 25	気がかりな事象の説明は、情報どうしの因果関係を、テキストや資料を活用し説明している。 20	問題が生活や人生に与える影響や問題が解決されないときの予測が主観的である。 根拠のない憶測が多い。5
4 患者に行われている日常生活援助の根拠を説明する。	対象の望ましい姿をふまえた患者理解が進む中で、日々行われている日常生活援助の根拠が理解できる。	対象理解 探求心	実習記録Ⅰ・Ⅱ 指導者への報告内容 ミーティングの発言内容 最終日カンファレンスの発表内容	日々の情報やクリティカルな思考が蓄積されている。対象の望ましい姿や看護問題が挙がり、日々実施した援助との関連を説明している。15	対象の望ましい姿や看護問題が挙がり、日々実施した援助との関連を説明している。 10	日常生活援助の根拠があいまいである。 3
5 看護師として倫理的規範を持ち行動する。	知り得た情報の管理ができる。	倫理観	記録用紙・メモの管理 実習中・実習後の行動	受け取った個人情報適切に管理し、プライバシーを守っている。10		知り得た個人情報が、適切に管理できない。 0
	信頼構築のための行動が取れる。	倫理観	時間管理、体調管理、言葉遣い、身だしなみ 実習準備状況	時間(管理)・体調・言葉遣い・身だしなみが毎日整えられた。 事前準備を整えて臨めた。5	時間(管理)・体調・言葉遣い・身だしなみを整えようとしていた。3	時間・体調・言葉遣い・身だしなみを整えようとしていたが、他者からは受け入れられなかった。0
	患者が安心や希望を持つ関係を築こうとしている。	倫理観 調整力	患者とのかかわり 面接	表情・言葉・声のトーン・ふるまいなどの眼差しや行動が、患者に効果的に作用している。5	表情・言葉・声のトーン・ふるまいなどの眼差しや行動を工夫している。3	表情・言葉・声のトーン・ふるまいなどの眼差しや行動が、患者に受け入れられなかった。0

※学生評価は、各評価項目の該当する評価基準の欄と、総合点に黒のボールペンで日付・点数を記入し、提出する。(中間と最終で行う)

欠課時間：	時間
中間評価：学生	/教員
最終評価：学生	/教員

実習指導者サイン()

担当教員サイン ()

一日の実習計画表

月 日() 実習()日目

<p>本日の実習目標(看護問題を解決に導くことを考えて、本日はどうなってもらいたいと考え、どのようなケアを実施するのかを考える。)</p>	
<p>実習計画</p> <p>8:30</p> <p>9:00</p> <p>10:00</p> <p>11:00</p> <p>12:00</p> <p>13:00</p> <p>14:00</p> <p>15:00</p>	<p>行動計画の詳細や援助計画(観察・ケア・説明計画を立てる。)</p> <p>(援助計画の根拠をテキストで調べ、患者の理解を深めながら記入する。)</p>
<p>本日の学</p>	<p>スタッフからの助言(学生が記入する)</p>

リフレクションシート (No) 学籍番号 学生氏名

(ケアの実施を通して自分自身に対する振り返りを行う用紙)

提出日 月 日

<p>今日の実習中の自己の出来事(看護場面)から、深めたい一場面を挙げる。 (5W1Hを意識し、実施した内容、関わった内容について、何が起こったか、具体的な状況、自己の判断や感情など、具体的に説明する。)</p>	<p>自己の体験を省察し、評価する。 (ケア実践を具体的に振り返ることで、最終的には新たな看護実践や自分自身の行動や傾向の気づきを明確にしていく。振り返りに必要となった知識はポートフォリオとしてノートまとめる。)</p>
--	--

患者の現象の因果関係・日常生活援助の実施内容の根拠などを整理し、患者のねがう生活を実現するために、どのようなつながりがあるのか、日々ふくらめていく。

③ 評価



② 批判的分析

① 状況

④ 自己への気づき



⑤ 気づきの統合



基礎看護学Ⅲ 評価表

学籍番号

氏名

目的：自己の看護実践を省察し、他者からの意見をふまえ、よりよい看護を追求し、看護者として自己を高める。

- 目標：
- 1 よりよい看護を追求する目的で実習中の出来事について省察することができる。
 - 2 看護を実施した結果について次へつながるよう評価することができる。
 - 3 看護師らしく考えることができるよう互いに助言を求める、助言をすることができる。

学習活動	評価規準	観点	評価資料	評価規準		
				すばらしい	よい	努力を要する
1 疑問や気がかりになっている具体的な場面を表現する。	手順をふみ、自己と対象の双方について体験場면을表現している。	調整力 実践力	実習の様子 実習記録ⅠⅡ 面接	実習で体験した具体的な状況の表現は、私と対象の両方の状況があり、私の思考・感情やその理由についても説明がされている。 20	状況の記述が、患者の言動あるいは私の言動・思いのどちらかに偏っている。 10	私の言動や思いの内容に偏っていて患者の言動が思い出せない。 5
2 自己の実践体験をクリティカルに振り返る。	実習中の気がかりな出来事について批判的分析の視点で思考する。	探求心	実習の様子 実習記録ⅠⅡ ポートフォリオ 面接	振り返り場面を自ら見つけ、知識を使い、その時の感情を考え、問題の究明を行い、代替え案を出している。倫理観に照らしながら、自分の行いを考察している。 25	振り返りの視点に、知識を使い、その時の感情を考え、問題の究明を行い、代替え案を出している。 15	左記の内容のどれかにとどまっている。気がかり場面に気づかず、促されて振り返っている。 5
3 実習中の気がかりな出来事について、ミーティング・カンファレンスで話し合いをする。	医療者としての優先順位や患者・家族の気持ちなどさまざまな立場を理解したうえで看護師としての考えを表現することができる。倫理原則に基づいて考えを述べられる。	実践力 探求心	実習記録Ⅱ ミーティング・カンファレンスの議題提示・発言内容	相談者の望ましい行動や望ましくない言動について傾聴している。承認のメッセージや相手が考えを進められるようなオープンでバフフルな質問をしている。倫理原則に基づいて意見を述べている。自己の気がかりとなった振り返りをミーティングの議題提示として挙げている。 15	左記の内容のどれかにとどまっている。 10	傾聴している。承認のメッセージや相手が考えを進められるような質問や発言をしていない。ミーティングに事例を提示できなかった。 5
4 実施に使用した知識、より良い実施をするために活用する知識を挙げる。	患者によりよい看護をするための援助の根拠について述べるができる。	探求心	実習記録ⅠⅡⅢⅣ 面接 ポートフォリオ	既習学習の想起と持つべき知識の具体が列挙されている。 20	既習の学習が想起され、関連付けを説明している。 15	持つべき知識について具体的な指示を受けて整理している。 5
5 実施した結果から、次の実践にむけての取り組みを挙げる。	実施した結果について患者によりよい看護をする目的で評価することができる。	探求心	実習記録ⅠⅡⅣ 実習の様子 面接	実施した内容の対象への影響について患者にとっての意味を患者のねがう生活と照らし合わせ、考察し表現している。 10	実施した内容と対象の変化の有無を根拠と共に説明し、次の取り組みが明確になっている。 7	実施内容の記述と次の実践の取り組みを説明していない。 1
6 医療者として、看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動をとる。	看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る必要性を理解し、適切な行動を取っている。 10	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。 5	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している。 0

※学生評価は、各評価項目の該当する評価規準の欄と総合点に黒のボールペンで日付・点数を記入し提出する。（中間と最終で行う。）

欠席時間:	時間
中間評価:学生	/教員
最終評価:学生	/教員

実習指導者サイン ()

担当教員サイン ()